

宮崎港

宮崎県県土整備部港湾課

〒880-8501 宮崎市橋通東2-10-1

☎0985-26-7188

URL : <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kowan/kurashi/shakaikiban/page00097.html>



1. 概況

宮崎港は古くは、赤江港といわれ、大淀川の河口港として約700年前より船舶の往航が盛んであった。文化年間頃より阪神方面との交通が開け、林産物、農作物の移出、加工品の移入等が増大して港勢隆々たるものがあった。

一方、大淀川は鹿児島県境より日向灘に至る延長100kmに及び、その水量は国内屈指の河川に属し比較的良性の河川であったが、複雑な領主権力に左右されて治水工事が行われず、台風の襲来による洪水の頻発、大規模な河川の移動や閉塞が見られ、船運が妨げられた。

そこで、明治22～23年頃に、河口の開削工事が始められ、左岸高州町地先に約500mの千本杭打を施工し、河口を開流して船の出入と洪水の疎通の改善が行われた。

明治33年に日向汽船会社が設立されてからは、神戸、大阪、鹿児島、多度津との交通が開始され、60総トン級と350総トン級汽船が就航し、大淀川を潮航して高岡町までの交通の便に貢献した。しかし大淀川自体はかなりの水深があったが、河床の変化や河口の移動が依然として著しかったので、高岡町までの潮航は中止のやむなきに至った。大正12年、国鉄日豊本線、引き続き私鉄宮崎鉄道(内海線)等の開通にともない、船舶の出入数が少なくなっていった。

昭和2年に、建設省が大淀川改修工事に着手し、また、昭和31年の港湾局部改良事業に引き続き、32年度から港湾改修事業が実施され、39年には河口切替を行い港口の安定をはかった。

しかし、大淀川河口を港口とする限り、-3.5mの航路水深の維持すら困難であること、他方、本港に対する輸送需要が急速に増大し、船舶の大型化も必至であること等から、大型港湾としての整備が強く要請されてきた。

このため、昭和48年3月に港湾計画が策定され、15,000トン級の大型船及び12,000トン級のフェリーが接岸できる岸壁、その他の施設の整備を図ることとなった。また、同年4

月には重要港湾の指定を受けている。

昭和55年12月には漁業補償交渉が妥結し、日向灘の厳しい海象条件の下、本格的な整備が進められた結果、昭和62年6月には入江が開削され、外海と直接結ぶ北航路が供用された。

また、昭和63年11月の計画改訂では、流通拠点港としての充実を図るとともに「宮崎・日南リゾート構想」の一環としてマリナー・人工海浜などを位置付け、緑地整備と併せて市民に親しまれる港湾整備を進めた。

平成2年4月には、フェリー岸壁及びターミナルビルが完成し、大阪南港との間にフェリーが就航した。その後も沖縄や川崎などのフェリー航路が開設され、RORO船や自動車専用船などの定期船の就航により港勢は飛躍的に伸びたが、近年は、川崎・沖縄のフェリー航路が休止となるなど、取扱貨物量は減少の傾向にある。

この様な中、平成15年3月には内貿ターミナルの機能強化やアジア地域との外貿物流機能の充実などを目指して港湾計画を改訂し、岸壁の耐震化を図ったところであり、今後は、貨物の動向を踏まえながら整備を進めることとしている。

また、平成26年10月には、大阪南港と結んでいたフェリー航路の寄港地が神戸港に変更された。神戸港フェリーターミナルは、神戸市の中心街や高速道路のインターチェンジに近いことから、観光、物流両面での本県経済へ大きく寄与している。さらに令和4年には、大型化した新船フェリー2隻が就航したところである。

マリナー・人工海浜については、平成18年までに一ツ葉地区で「みやざき臨海公園」として「サンビーチ一ツ葉」・「サンマリナー宮崎」などがオープンし、海洋性レクリエーションの拠点となっている。さらに「みやざき臨海公園」と、フェリーターミナル北側にある「西地区緑地」の周遊性向上を目的として、令和4年より整備を進めていた「りんかいひなた橋」が令和6年12月に供用開始した。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	8	33,164						
内航商船	1,212	1,792,447			1	22,472		
自航	348	4,874,088			348	4,874,088		
その他	1,536	130,023						
合計	3,104	6,829,722			349	4,896,560		

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	5	24,187	3	8,977				
内航商船	270	1,209,205	13	26,972	321	259,154	607	274,644
自航								
その他	6	20,332	35	52,072	44	31,274	1,451	26,345
合計	281	1,253,724	51	88,021	365	290,428	2,058	300,989

最大入港船舶のトン数 22,472 総トン（喫水 6.6m）

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	19,067	100.0			19,067	100.0				
輸入	1,400	100.0								
計	20,467	100.0			19,067	93.2				
移出	305,698	100.0	880	0.3	880	0.3	35,303	11.5	108,770	35.6
移入	1,323,600	100.0	1,004	0.1	1,800	0.1	765,200	57.8	74,998	5.7
計	1,629,298	100.0	1,884	0.1	2,680	0.2	800,503	49.1	183,768	11.3
合計	1,649,765	100.0	1,884	0.1	21,747	1.3	800,503	48.5	183,768	11.1

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入	1,400	100.0								
計	1,400	6.8								
移出			67,633	22.1			92,232	30.2		
移入	471,310	35.6	6,548	0.5	1,360	0.1	1,380	0.1		
計	471,310	28.9	74,181	4.6	1,360	0.1	93,612	5.7		
合計	472,710	28.7	74,181	4.5	1,360	0.1	93,612	5.7		

太字は自動車航走船取扱貨物（外数）で、計及び合計に含まない

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	157,654	86,215	71,439
計	157,654	86,215	71,439

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面 水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟 数	使用 面積 (㎡)	
(公 共)											
西 地 区	第1岸壁	4.5	120	700	2						官公庁船 LPG セメント シャーシ フェリー 旅客船
	第2岸壁	5.5	270	2,000	3						
	第3岸壁	4.5	130	700	2						
	第5岸壁	7.5	260	5,000	2						
	第7岸壁(耐震)	7.5	194	6,000GT	1						
	第10岸壁(耐震)	9.0	165	10,000GT	1						
	第11岸壁	9.0	300	50,000GT	1						
東 地 区	第6岸壁	4.5	388	700	7						官公庁船 官公庁船 砂、砂利、非金属鉱物 金属くず、原木 揮発油、その他の石油
	第8岸壁	4.5	60	700	1						
	第9岸壁	5.5	400	2,000	4						
	第12岸壁	7.5	390	5,000	3				1	1,634	
	第13岸壁	9.0	210	10,000	1						

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場 (骨材)	-	52,299㎡
(雑貨)	-	26,089㎡
(その他)	-	103,065㎡
普通倉庫		
1~3類倉庫	16	41,776㎡
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(㎡)
錨泊地	9.0	309,136
	7.5	152,063
	5.5	114,700
	4.5	133,790
	4.0	5,963
	3.5	46,176
	3.0	24,000
	2.0	5,600
	1.0	5,880
	はしけ溜	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(㎡)
フェリー ターミナル	930

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	12,166
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下 架施設 (能力、 基数)	泊地 水深 (m)	開設 年度	関連施設	
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤 延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボート ヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧橋 (隻分)					固定 棧橋 (隻分)
サンマリーナ宮崎 [Ⓒ] 〒880-0834 宮崎 市新別府町前浜 1400-16 ☎0985-62-2665	219,000	98,000	475	363 隻	デンギー ヨット用 150隻 ボート ヤード 70隻	43	クルー ザー ヨット用 93隻	-	固定式クレーン 50ft、20t 1基	3.0	平成13 年度 オープン	マリンセンター 上下架施設 修理工場 多目的広場 駐車場

6. 緑地

区 分 名 称	面 積 (㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施 設	
					利 用 施 設	附 属 施 設
一ツ葉地区	153,794 (80)	600	緩衝、 シンボル、 親水緑地	平成10年度 ～18年度	遊具	
西地区	50,173 (88)	-	定期船発着 場等緑地等	昭和55年度 ～ 平成14年度		
東地区	152,025 (80)	1,050	定期船発着 場等緑地等	昭和57年度 ～ 平成18年度		
一ツ葉地区	13,436 (-)	-	津波避難 施設	令和2年度		
東地区	6,130 (-)	-	津波避難 施設	令和2年度		

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
(株)バイフロントハッコー	〒880-0858 宮崎市港1-16	0985-25-4114	2,500馬力	1

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
宮崎海上保安部	〒887-0001 日南市油津4-12-1(油津港湾合同庁舎)	0987-22-3021
九州運輸局宮崎運輸支局	〒880-0925 宮崎市大字本郷北方字鶴戸尾2735-3	0985-63-2512
九州地方整備局宮崎港湾・空港整備事務所	〒880-0858 宮崎市港1-16	0985-25-5375
宮崎県中部港湾事務所	〒880-0858 宮崎市港1-18	0985-24-6224

